

生涯学習イメージキャラクター
「マナビィ」

教育委員提案

戸田市民大学の現状と卒業後の知識活用について

生涯学習課

戸田市民大学の現状

■開講
　平成２０年度からスタート

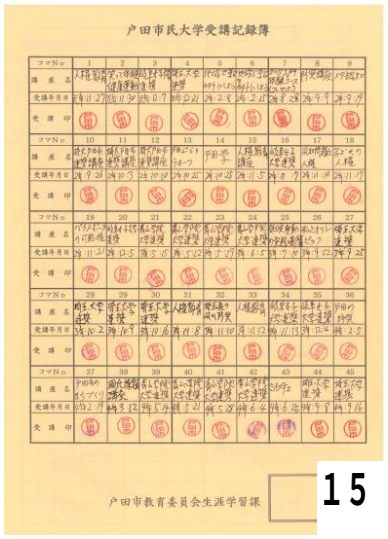
■市民大学の趣旨
　時代と社会の要請に即応し、市の地域性又は課題を考慮したテーマを採り上げ、多様な学習の機会を提供することにより、市民の自主的活動の促進を図り、もって市民の自己教育力を高めることを目標とする。

■制度について
・６コース（くらし、教養、地域の学び・スポーツ・健康、リカレント・大学連携）
　約６０講座（R4）
・単位制（１講座１単位）
・４５単位修了者に修了証の授与
　大学聴講補助制度
（大学の公開講座等の授業料の一部を補助
　※受講料の３分の２を基準とし、
２万円を限度とする）

※修了者の数・・・累計１４１名



カリキュラム予定表



受講票

学習後の知識活用について



【現状の市民大学】

■受講後の目的を明確にしたカリキュラム編成ではない

・様々な分野から個人の興味・関心に基づいて学習内容を選択し、深めていく
・様々な分野を学んでいく楽しさを実感できるように、講座を設定
・４５単位の修了→これまでの学習の成果をたたえるもの（通過点）
・さらに学びを深めてもらうことを目指し、大学聴講制度を設けている
・市民企画講座の企画募集など（実際に自身で講座を企画）

【課題】

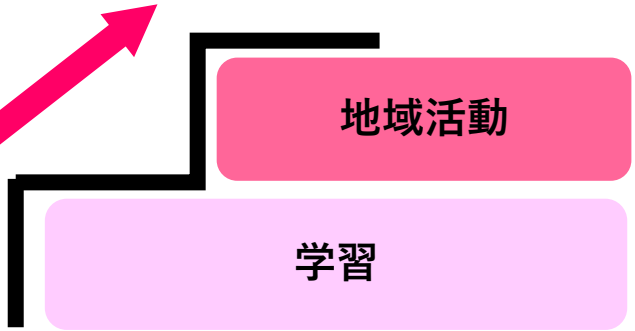
■大学聴講補助制度の利用者の少なさ（１名）
→周知不足、市民ニーズとの乖離



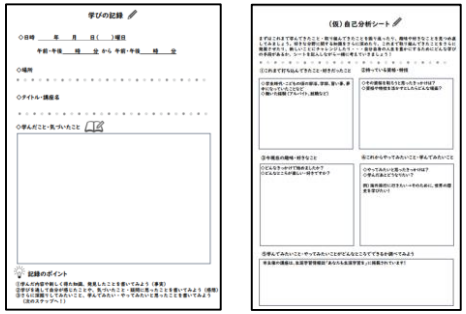
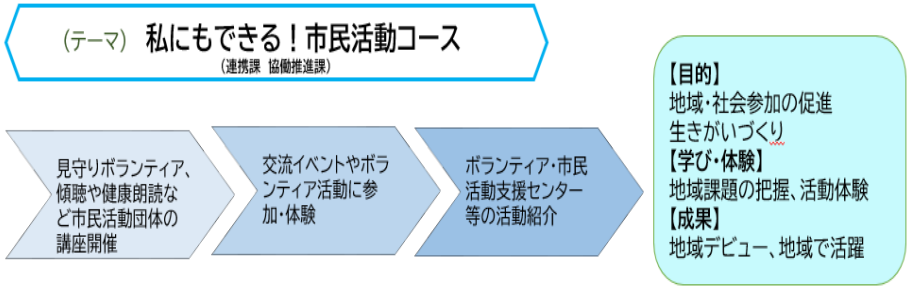
■学習意欲をいかに高めるか
→生涯学習・学び直しを促進するために必要な仕組みの検討

■学びを通した地域づくりや地域の人材育成など、社会教育行政が取り組むべき側面をどのように取り入れていくか

現状の市民大学制度の整理

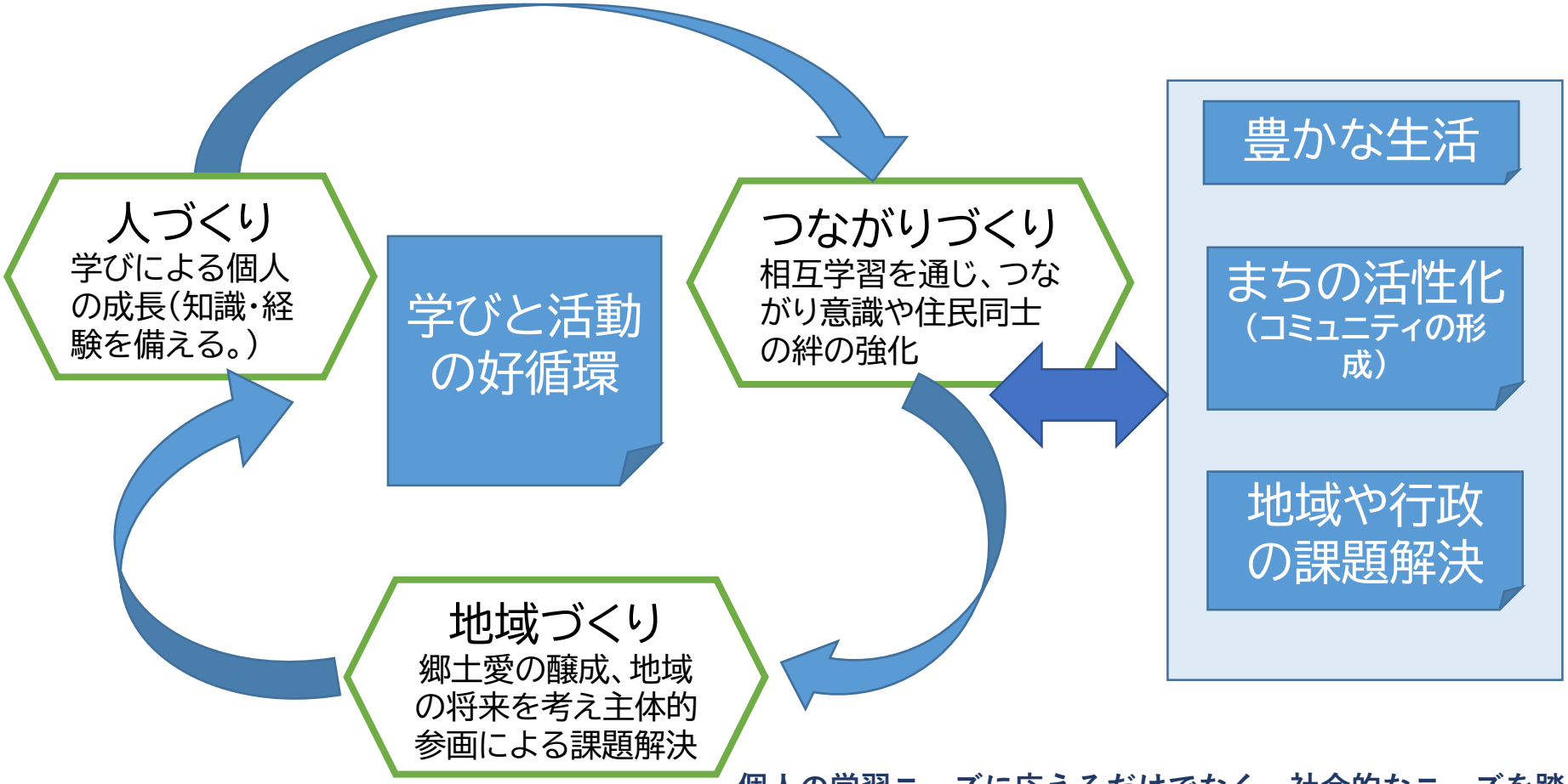
社会教育の意義	一人ひとりの**生活**と**地域づくり**を支える「学びと実践」の機会を提供する	
	個人の興味関心に基づいて学びを深める 生活を支えるリテラシーの向上	「学び」を通じた地域づくり ～人づくり・つながりづくり・地域づくり～
講座のあり方	**【現状の市民大学】** 学ぶ楽しさ・生きがいづくり 	**【今後求められているもの】** 学んだことを地域で活かす 
目的	様々な分野を学ぶ・学ぶ楽しさを実感 個別の学習ニーズを満たす	地域づくり・つながりづくり
学習後の成果	自己教育力の向上 様々な知識を身に付ける 単位認定　表彰　大学聴講	地域の人材育成 社会参加・地域参画 学びのステップアップ

今後の展望

社会教育の意義	一人ひとりの**生活**と**地域づくり**を支える「学びと実践」の機会を提供する	
	個人の興味関心に基づいて学びを深める 生活を支えるリテラシーの向上	「学び」を通じた地域づくり ～人づくり・つながりづくり・地域づくり～
具体的な事業	①学びを促進するための 「学習記録ツール」の開発  ②講座内容、連携大学等の見直し ③大学聴講補助制度の周知強化	活動参加や交流へのきっかけとなる情報の提供や活躍の場の紹介をセットにした連続講座を各公民館で実施する。 ＜例＞  ※戸田市ボランティア・市民活動支援センター連携事業⇒地域で活躍する担い手づくり
目的	様々な分野を学ぶ・学ぶ楽しさを実感 個別の学習ニーズを満たす	地域づくり・つながりづくり
学習後の成果	単位認定　表彰　大学聴講 個人の学び直し促進	地域の人材育成 社会参加・地域参画

今後の展望

◆人生100年時代の生涯学習◆　「生きがい」「活躍の場」の創出をサポート　～社会教育の視点での取組～



個人の学習ニーズに応えるだけでなく、社会的なニーズを踏まえた学習機会の提供ときっかけづくりも求められている。

「中央教育審議会生涯学習分科会答申より」一部抜粋